

平成
27年度

予算を可決

この定例会では、平成27年度桐生市一般会計予算及び11事業の特別会計予算並びに桐生市水道事業会計予算について審議を行い、それぞれ可決しました。なお、同予算を可決するにあたっては、予算特別委員会（委員18人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。本会議における討論の概要は左記のとおりです。



（審査の様子）

賛成討論

平成27年度の予算規模は460億円となり、前年比3.6%増の積極的な予算である。その中で、投資的経費は、前年比17.7%増、金額にして6億8,489万9,000円増の45億5,158万5,000円となり、これまで市長をはじめとする当局執行部が行財政改革に積極的に取り組み、その成果と生効果のみ出したことにより、弾力性のある行財政運営の実現に近づけたものと敬意を表するとともに、高く評価する。

主要事業として、重伝建地区整備は、桐生市に観光客を呼び込むための大切なポイントであり、観光客誘致の面では、桐生が岡動物園の充実にも期待を寄せるものである。住宅取得応援事業については、これまでを充分検証し今後も積極的な展開を期待する。また、子育て就労者市内居住奨励補助金も評価できる事業である。梅田台緑地整備について、同緑地はロウバイでも有名であり、ボート乗り場にも隣接していることから誘客も期待できるので地域住民と協議し市民に喜ばれる場所となることを要望する。小中学校の第3子以降給食費無料化については、子育て世帯の負担軽減につながることから積極的に進めることを要望する。

歳入については、景気が回復傾向にあると言われている昨今でも前年と比べ、市税や地方交付税は微減の見込みで、自主財源は46.1%、依存財源が53.9%となり、依然として依存財源に頼らざるを得ない財政状況である。

当市には人口減少、みどり市との合併などまだまだ問題点はあるが、将来を見据えた元気で活力あるまちづくりのため、市長をはじめ全庁体制での予算執行をお願いし、賛成討論としたい。

反対討論

今必要なのは、多くの市民が毎日の生活を通して実感している困難に寄り添い、税の負担を軽減することを含めて、自治体本来の福祉の増進に寄与する行政の姿を市民に示すことだと考えるが、本予算案は不十分と言わざるを得ない。

平成27年度予算の個々の施策については、評価するが、予算案となると人件費部分が多く含まれており、しかも今回は人事院勧告に伴う給与や期末・勤勉手当を引き上げた上での予算である。

今求められているのは、引き上げではなく、むしろ引き下げであり、公僕と言われる人たちが、自ら身を切り、国民・市民と痛みを分かち合うその姿勢そのものであると、主権者市民の視点で声を大にして申し上げ、反対討論としたい。

一般会計の補正予算

○平成26年度桐生市一般会計補正予算（第8号）

可決

歳出予算の主な補正内容

- 総務費交通対策費
地域公共交通体系改善事業
（おりひめバス購入費ほか）
……………6,805万4,000円の追加
- 商工費商業振興費
スーパープレミアム付き商品券発行支援事業
（補助率30%のプレミアム付き商品券発行支援補助金）
……………1億9,100万円の追加
- 土木費公園費
動物園観光促進ウェルカム事業
（ライオン舎新設費ほか）
……………1億400万3,000円の追加
- 消防費災害対策費
自主防災事業
（土砂災害警戒区域ハザードマップ作成ほか）
……………1,303万7,000円の追加